

2025 年度地域農林経済学会理事会 議事録

日時：2025 年 10 月 31 日（金）18:00～19:45

場所：島根大学 松江キャンパス

議長：本田恭子、記録：川崎訓昭

出席者：伊藤淳史、小川景司、大崎優、Keshav Maharjan、北野慎一、Keeni Minakushi、川崎訓昭、鬼頭弥生、木原奈穂子、清原昭子、草処基、柴崎浩平、住本雅洋、竹歳一紀、高篠仁奈、長命洋佑、辻村英之、中村貴子、中間由紀子、西村武司、本田恭子、松下秀介、宮井浩志、矢倉研二郎、山口道利（以上、理事 24 名、監事 1 名／別途委任状 18 名）

1. 開会挨拶

竹歳会長より開会の挨拶がなされた。

2. 議長の選出

議長として本田理事が選出された。

3. 報告事項

(1) 2025 年度常任理事会・大会実行委員会の開催状況について

山口庶務担当理事より、2025 年度常任理事会・大会実行委員会の開催状況について報告がなされた。

(2) 2025 年度事業中間報告および会計中間報告

山口庶務担当理事より、2025 年度事業中間報告について報告がなされた。続いて、長命会計担当理事より、2025 年度会計中間報告について報告がなされた。

(3) 編集委員会報告

北野編集担当理事より、学会誌の発行・編集状況、原稿の投稿・審査・依頼状況、学会誌および編集の改革（論文の早期公開システムの導入、投稿規定細則の見直し、即時 OA への対応、研究倫理および AI 利用に関する規定整備、研究論文と個別報告論文の役割の再検討、Editorial Manager の導入）について報告がなされた。

(4) 国際ワークショップ発表英論文奨励事業の廃止について

高篠国際化担当理事より、2025 年の発表者適用を最後として国際ワークショップ発表英論文奨励事業実施要項は廃止されることが報告された。

(5) その他

・伊藤庶務担当理事より、四国支部より支部大会の休止、中国支部より支部大会の継続困難の報告があったことが報告された。また、国際ワークショップも継続が困難となっており、継続的に実施方法を検討していくこととなった。

・木原会計担当理事より、大会参加費・懇親会参加費を 2025 年度大会より導入し、事前申込者のうち約半数がオンライン支払いを利用していたことが報告された。

4. 審議事項

(1) 2024 年度事業報告および会計報告

山口庶務担当理事より、2024 年度事業報告がなされた。続いて、木原会計担当理事より、2024 年度会計決算報告がなされ、さらに、矢倉監事から会計監査報告がなされ、会計処理が適正に行われている旨の報告がなされた。これらは審議の結果、原案通り総会に附議することとなった。

(2) 2026 年度事業計画および予算案

山口庶務担当理事より、2026 年度事業計画について説明がなされた。続いて、木原会計担当理事より、2026 年度予算案について説明がなされた。これらは審議の結果、報告論文査読管理等費用の計算方法の誤植 (P15、30 本→31 本) については修正のうえ、総会に附議することとなった。また、木原会計担当理事より、収支構造を鑑みると今後会費の値上げの検討が必要であること、会員に向けてのアンケートを実施する可能性があることが報告された。

(3) 新入会員および退会者について

柴崎組織広報担当理事より、新入会員および退会者について説明がなされ、審議の結果、承認された。

(4) 学会費長期滞納者等の会員資格喪失について

柴崎組織広報担当理事より、学会費長期滞納者等の会員資格喪失について説明がなされ、会則に従い対応する旨の説明がなされた。審議の結果、承認された。

(5) 学会諸賞の選考結果について

辻村学会賞選考委員長より、学会諸賞の選考結果と選考経過及び選考理由について説明がなされ、承認された。

(地域農林経済学会賞)

該当なし

(地域農林経済学会奨励賞)

推薦なし

(地域農林経済学会特別賞)

推薦なし

(地域農林経済学会誌賞)

該当なし

(6) 名誉会員の推薦について

山口庶務担当理事より、本年度の名誉会員として、宇山満会員を推薦したい旨の説明がなされ、審議の結果、原案通り総会に附議することとなった。

(7) 2026 年度学会大会の開催地について

竹歳会長より 2026 年度学会大会の開催地を摂南大学(枚方キャンパス)とすることが提案され、承認された。続いて、次期開催校を代表して川崎庶務担当理事より挨拶がなされた。

5. 閉会挨拶

Maharjan 副会長より閉会の挨拶がなされた。